

令和4年度

# 事業用大規模建築物 データファイル

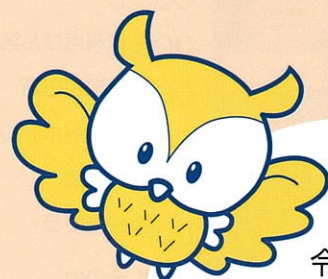
地球環境の  
保全に  
寄与できます。

コストの  
削減と効率化が  
図れます。

ごみ減量・リサイクル推進のメリット

企業イメージ  
の向上に  
つながります。

従業員の  
意識啓発が  
行えます。



発行  
令和5年2月

豊島清掃事務所  
豊島区池袋本町1-7-3  
TEL : 3984-9681

この冊子は、再生紙を使用しております。

# 目次

- 1 豊島区のごみについて..... 3
- 2 事業系ごみについて..... 3
- 3 事業用大規模建築物..... 3
- 4 再利用計画書の集計結果と分析..... 3
- 5 事業用途延べ床面積3,000㎡以上建築物の集計値..... 4
- 6 事業用途延べ床面積1,000㎡以上3,000㎡未満建築物の集計値..... 6

※集計表は、端数処理のため合計値、再利用率が一致しない場合があります。



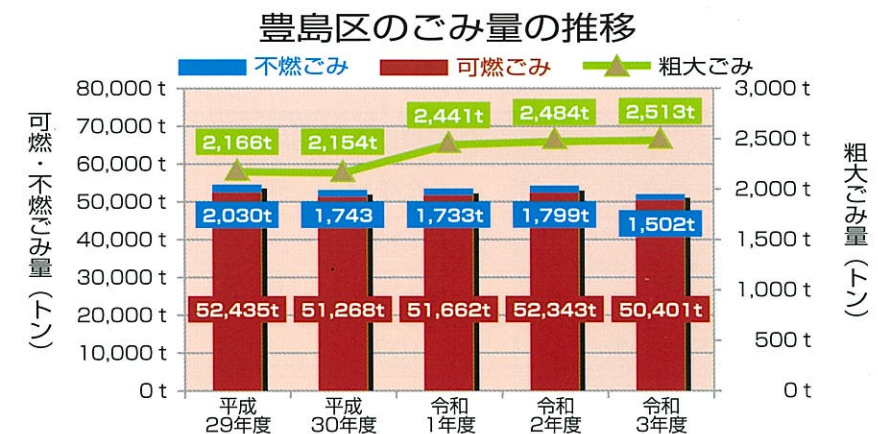
## 1 豊島区のごみについて

令和3年度における豊島区のごみ量は、区収集が可燃・不燃・粗大合わせて54,416トンで、前年度比2,210トン減少しました。

可燃ごみは1,942トンの減少、不燃ごみは297トンの減少、粗大ごみは29トンの増加、持込ごみ（※）は492トンの増加となりました。

	R1年度(t)	R2年度(t)	R3年度(t)	前年度比	増減(t)
区収集 合計	55,836	56,626	54,416	96.1%	-2,210
区収集	可燃	51,662	52,343	96.3%	-1,942
	不燃	1,733	1,799	83.5%	-297
	粗大	2,441	2,484	101.2%	29
持込ごみ	40,607	28,770	29,262	101.7%	492
計	96,442	85,396	83,678	98.0%	-1,718

※持込ごみ 承認を受けた事業者等が清掃工場や埋立処分場等に直接持ち込むごみ。



## 2 事業系ごみについて

豊島区はオフィスビルや飲食店が多く、18,962の事業所（平成28年度統計）があります。豊島区の実業系ごみについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第3条に規定する「事業者自己処理責任」の原則を踏まえて、1日の排出量が10kg以上の事業者を民間収集業者へ移行するように取り組んでいます。持続可能な資源循環型社会の構築に向けて事業系ごみの減量及びリサイクル率の向上に取り組むことが必要です。

## 3 事業用大規模建築物

豊島区では、事業用大規模建築物のごみ減量・リサイクル率向上を図るため、下記の取り組みを行っています。

- ・ 廃棄物管理責任者の選任依頼
- ・ 廃棄物管理責任者講習会
- ・ 再利用計画書の提出依頼（※）
- ・ 建築物への立入調査

より一層のごみ減量・リサイクル率向上を図るため、平成21年4月より対象建築物を事業用途に供する延べ床面積1,000㎡以上に拡大しました。

※令和4年度で再利用計画書の提出があった建築物は651件です。

## 4 再利用計画書の集計結果と分析

豊島区では、豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例に基づき、事業用大規模建築物の所有者等に対して、いくつかの義務を課しています。そのひとつが、再利用計画書の提出です。今回集計したごみ・資源の発生量・再利用量の数値は、令和3年度の実績量として提出のあった集計値になります。豊島区の実業用大規模建築物から排出されるごみ・資源の傾向を捉え、今後のごみ減量・リサイクルの取り組みにご活用ください。

# 5 事業用途延べ床面積3,000m<sup>2</sup>以上建築物の集計値

## (1) 再利用率の推移

再利用率の推移					
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
60.0%	61.3%	62.4%	59.9%	59.9%	59.6%

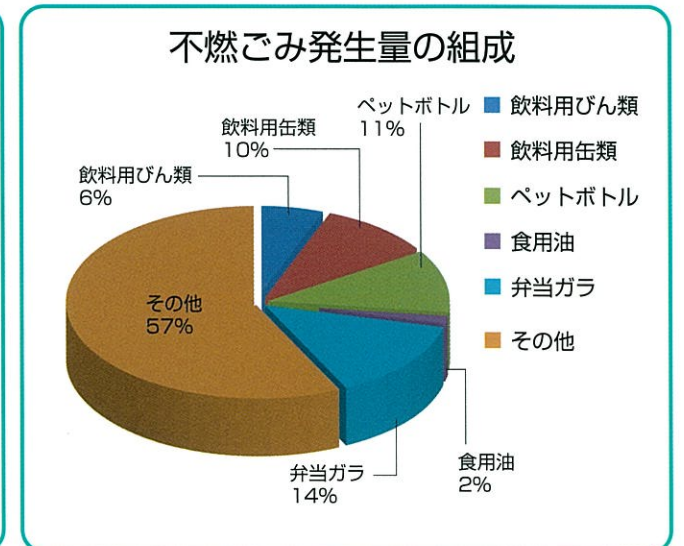
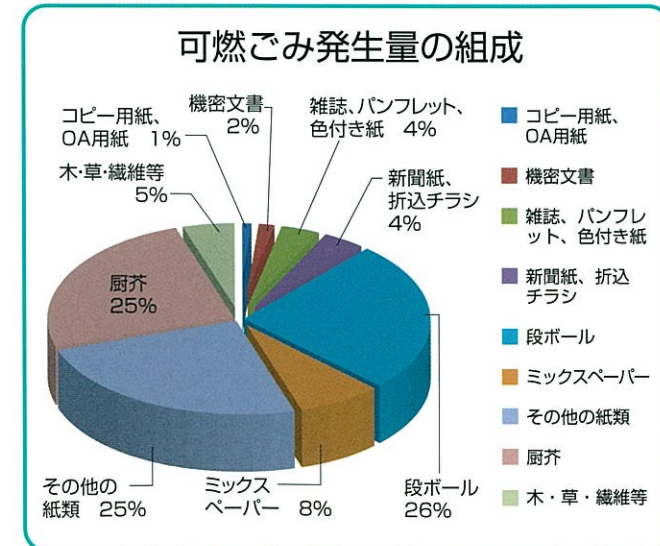
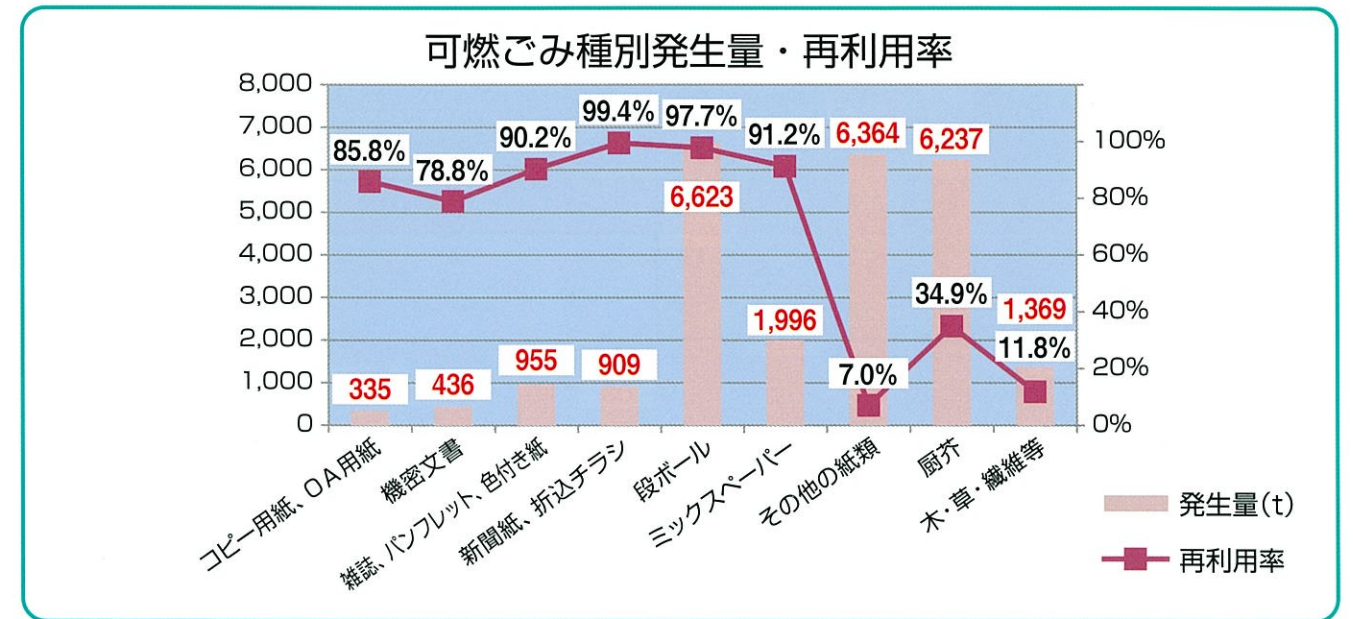
## (2) 建築物用途別発生量・再利用率 (集計建築物数 350件)

用途	発生量(t)	再利用率(t)	再利用率	合計㎡	従業員数(人)	物件数(件)
オフィス	9,822	5,933	60.4%	1,846,252	72,870	150
店舗	14,180	9,536	67.3%	867,311	24,422	53
飲食店・ホテル	3,731	1,592	42.7%	302,773	3,923	33
工場・研究施設	107	96	89.4%	17,039	100	3
医療機関	1,055	370	35.1%	69,792	1,675	7
学校	1,735	926	53.3%	896,700	7,997	55
駅	975	649	66.6%	377,687	504	14
その他	2,350	1,140	48.5%	295,689	7,680	35
計	33,955	20,241	59.6%	4,673,243	119,171	350
一物件あたり重量(t)	97	58				
1㎡あたり重量(kg)	7	4				



## (3) ごみ種別発生量・再利用率 (集計建築物数 350件)

ごみの種類	発生量 (t)		再利用率 (t)		再利用率
	A	構成比 (対全排出量)	B	構成比 (対全排出量)	
可燃物	①コピー用紙、OA用紙	335	1.0%	287	85.8%
	②機密文書	436	1.3%	343	78.8%
	③雑誌、パンフレット、色付き紙	955	2.8%	862	90.2%
	④新聞紙、折込チラシ	909	2.7%	904	99.4%
	⑤段ボール	6,623	19.5%	6,473	97.7%
	⑥ミックスペーパー	1,996	5.9%	1,821	91.2%
	⑦その他	6,364	18.7%	446	7.0%
	紙類小計 (①~⑦の計)	17,617	51.9%	11,135	63.2%
	⑧厨芥 (茶殻・残飯等の生ごみ)	6,237	18.4%	2,176	34.9%
	⑨木・草・繊維等	1,369	4.0%	162	11.8%
可燃物合計 (①~⑨の合計) (a)	25,223	74.3%	13,473	66.6%	53.4%
不燃・焼却不適物	⑩飲料用びん類	500	1.5%	495	99.0%
	⑪飲料用缶類	818	2.4%	802	98.0%
	⑫ペットボトル	963	2.8%	926	96.1%
	⑬食用油	162	0.5%	157	96.7%
	⑭弁当ガラ	1,141	3.4%	540	47.3%
	⑮その他	4,832	14.2%	3,745	77.5%
	不燃・焼却不適物合計 (⑩~⑮の合計) (b)	8,417	24.8%	6,665	32.9%
⑯特定の事業活動に伴う可燃物 (c)	315	0.9%	102	0.5%	32.3%
総合計 (a) + (b) + (c)	33,955	100.0%	20,241	100.0%	59.6%



# 6 事業用途延べ床面積1,000m<sup>2</sup>以上 3,000m<sup>2</sup>未満建築物の集計値

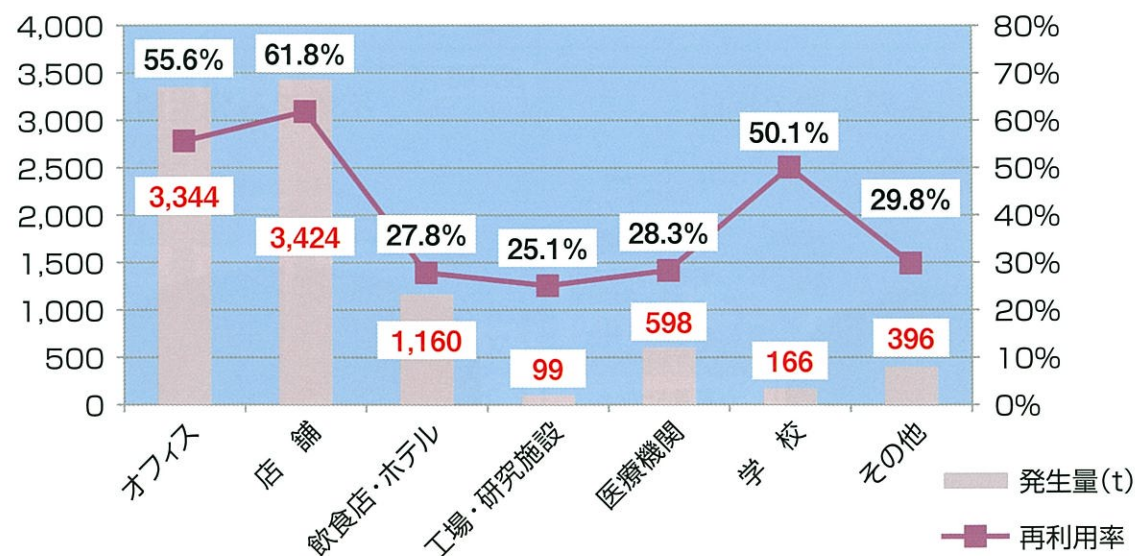
## (1) 再利用率の推移

再利用率の推移					
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
42.2%	49.0%	41.4%	47.2%	43.9%	51.1%

## (2) 建築物用途別発生量・再利用率 (集計建築物数 301件)

用途	発生量(t)	再利用率(t)	再利用率	合計㎡	従業員数(人)	物件数(件)
オフィス	3,344	1,859	55.6%	311,781	12,957	154
店舗	3,424	2,116	61.8%	91,907	2,777	47
飲食店・ホテル	1,160	322	27.8%	52,193	696	32
工場・研究施設	99	25	25.1%	8,621	204	6
医療機関	598	169	28.3%	29,274	763	12
学校	166	83	50.1%	22,423	468	12
その他	396	118	29.8%	60,716	1,855	38
計	9,187	4,692	51.1%	576,914	19,720	301
一物件あたり重量(t)	31	16				
1㎡あたり重量(kg)	16	8				

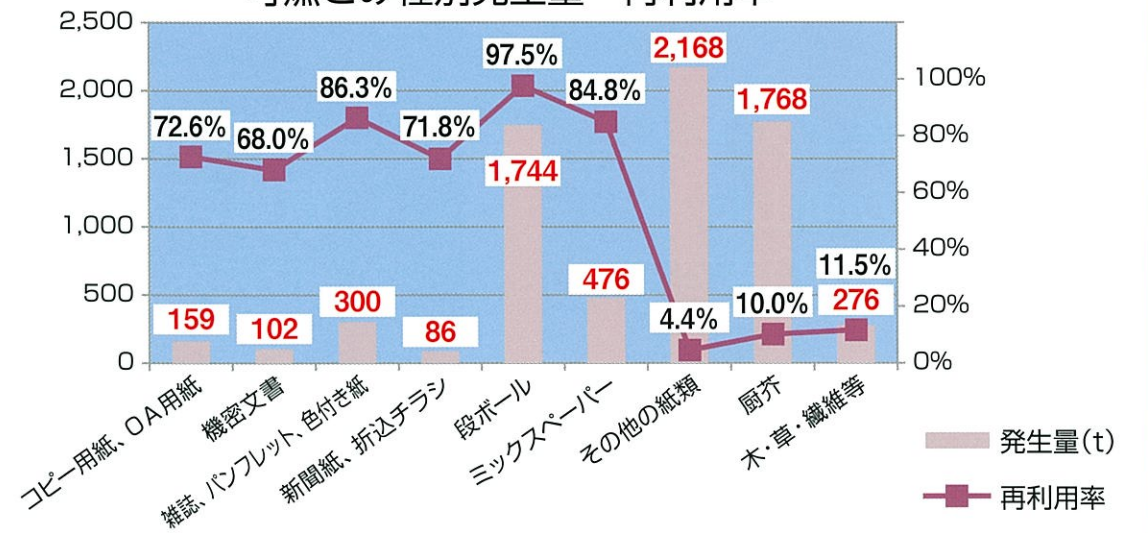
用途別ごみ発生量・再利用率



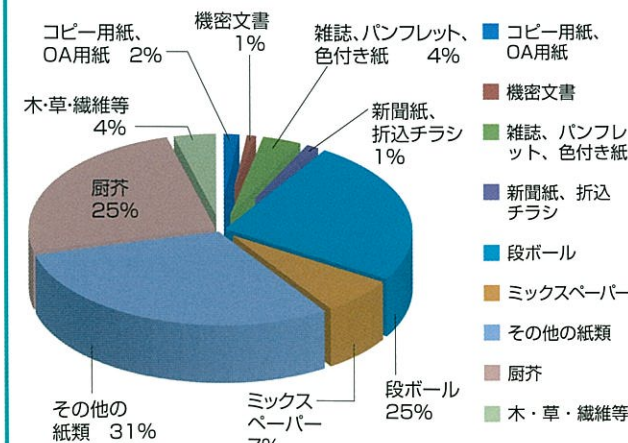
## (3) ごみ種別発生量・再利用率 (集計建築物数 301件)

ごみの種類	発生量 (t)		再利用率 (t)		再利用率	
	A	構成比 (対全排出量)	B	構成比 (対全排出量)		
可燃物	①コピー用紙、OA用紙	159	1.7%	115	2.5%	72.6%
	②機密文書	102	1.1%	70	1.5%	68.0%
	③雑誌、パンフレット、色付き紙	300	3.3%	259	5.5%	86.3%
	④新聞紙、折込チラシ	86	0.9%	62	1.3%	71.8%
	⑤段ボール	1,744	19.0%	1,701	36.2%	97.5%
	⑥ミックスペーパー	476	5.2%	403	8.6%	84.8%
	⑦その他	2,168	23.6%	96	2.0%	4.4%
	紙類小計 (①~⑦の計)	5,035	54.8%	2,706	57.7%	53.7%
	⑧厨芥 (茶殻・残飯等の生ごみ)	1,768	19.2%	177	3.8%	10.0%
	⑨木・草・繊維等	276	3.0%	32	0.7%	11.5%
可燃物合計 (①~⑨の合計) (a)	7,078	77.1%	2,914	62.1%	41.2%	
不燃・焼却不適物	⑩飲料用びん類	114	1.2%	110	2.3%	96.0%
	⑪飲料用缶類	332	3.6%	329	7.0%	99.1%
	⑫ペットボトル	521	5.7%	516	11.0%	99.1%
	⑬食用油	28	0.3%	26	0.6%	92.6%
	⑭弁当ガラ	220	2.4%	97	2.1%	44.1%
	⑮その他	865	9.4%	684	14.6%	79.1%
	不燃・焼却不適物合計 (⑩~⑮の合計) (b)	2,081	22.7%	1,763	37.6%	84.7%
⑯特定の事業活動に伴う可燃物 (c)	27	0.3%	15	0.3%	55.1%	
総合計 (a) + (b) + (c)	9,187	100.0%	4,692	100.0%	51.1%	

可燃ごみ種別発生量・再利用率



可燃ごみ発生量の組成



不燃ごみ発生量の組成

